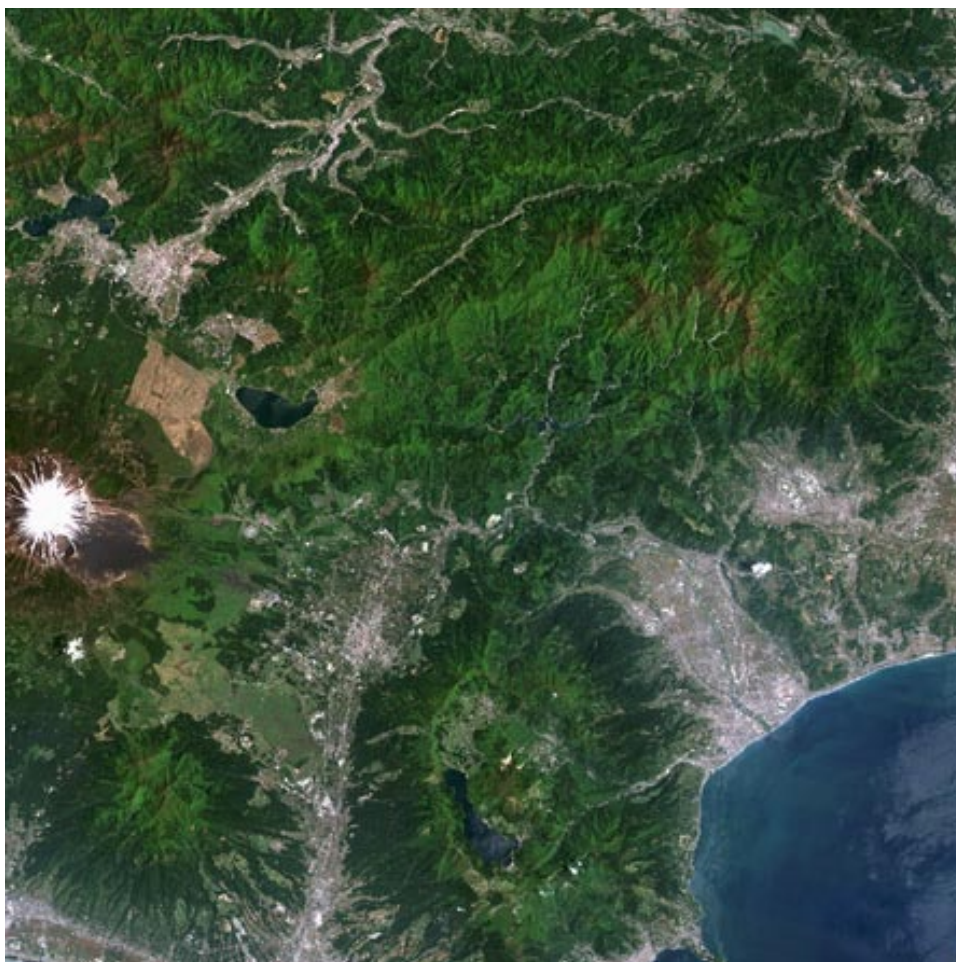
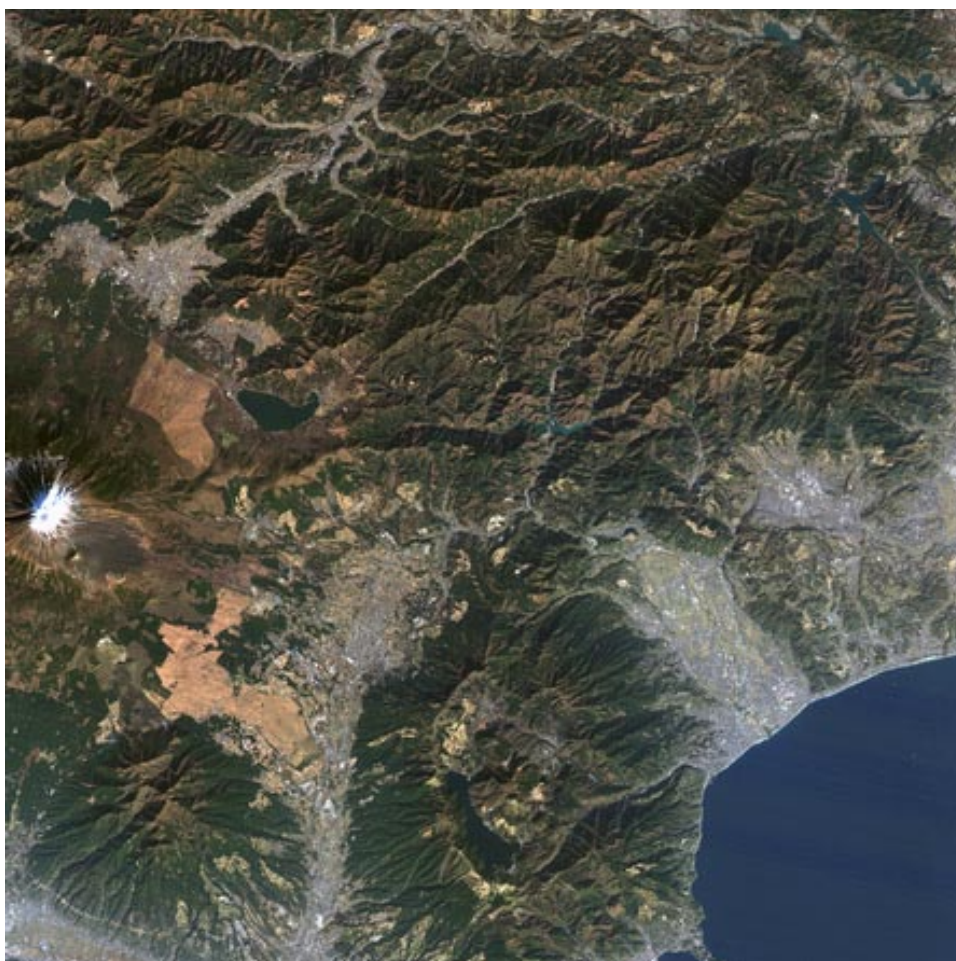


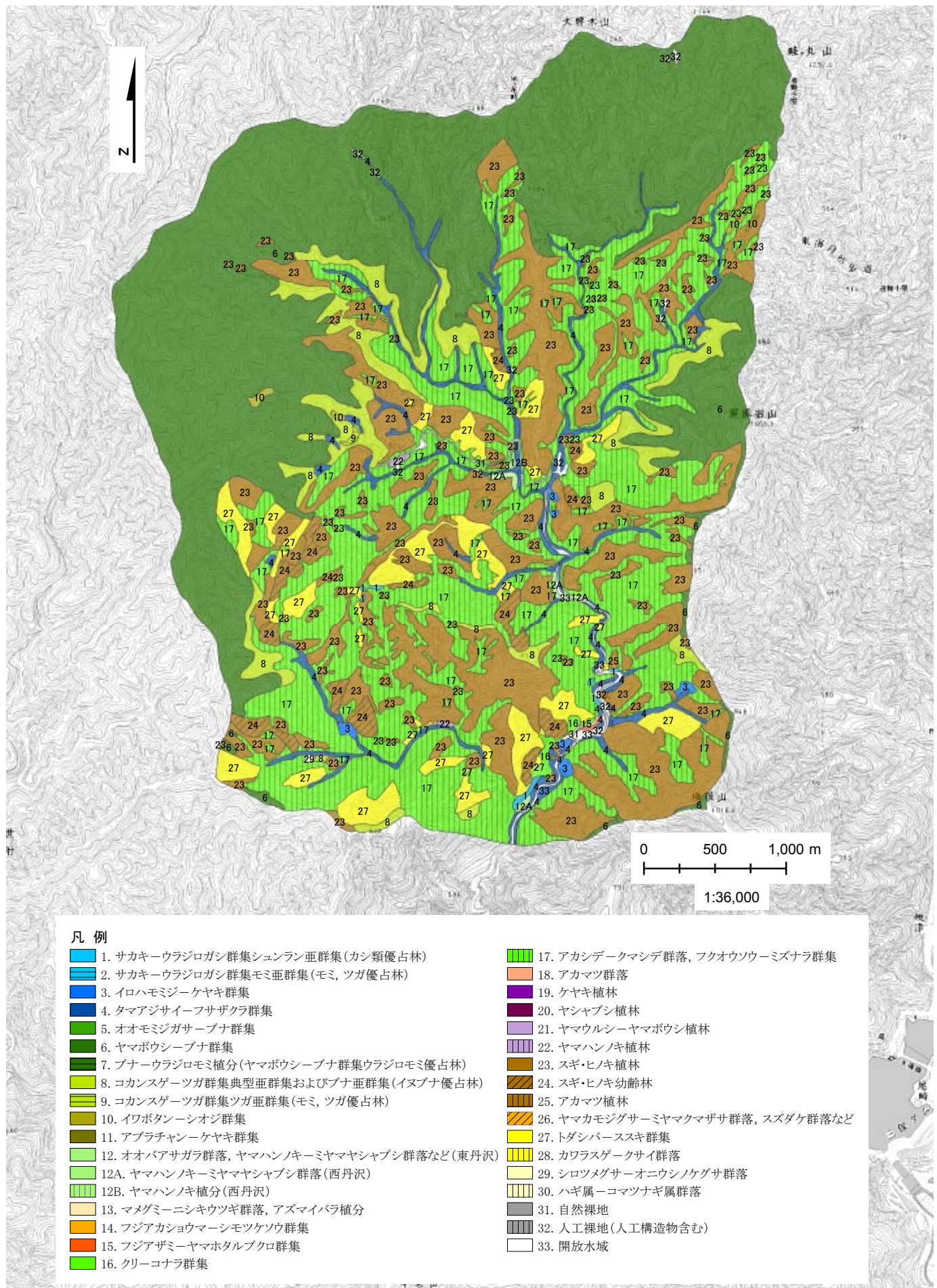


丹沢山地周辺のランドサット
TM 画像（トゥルーカラー）
1995 年 5 月 18 日 撮影
東京情報大学提供



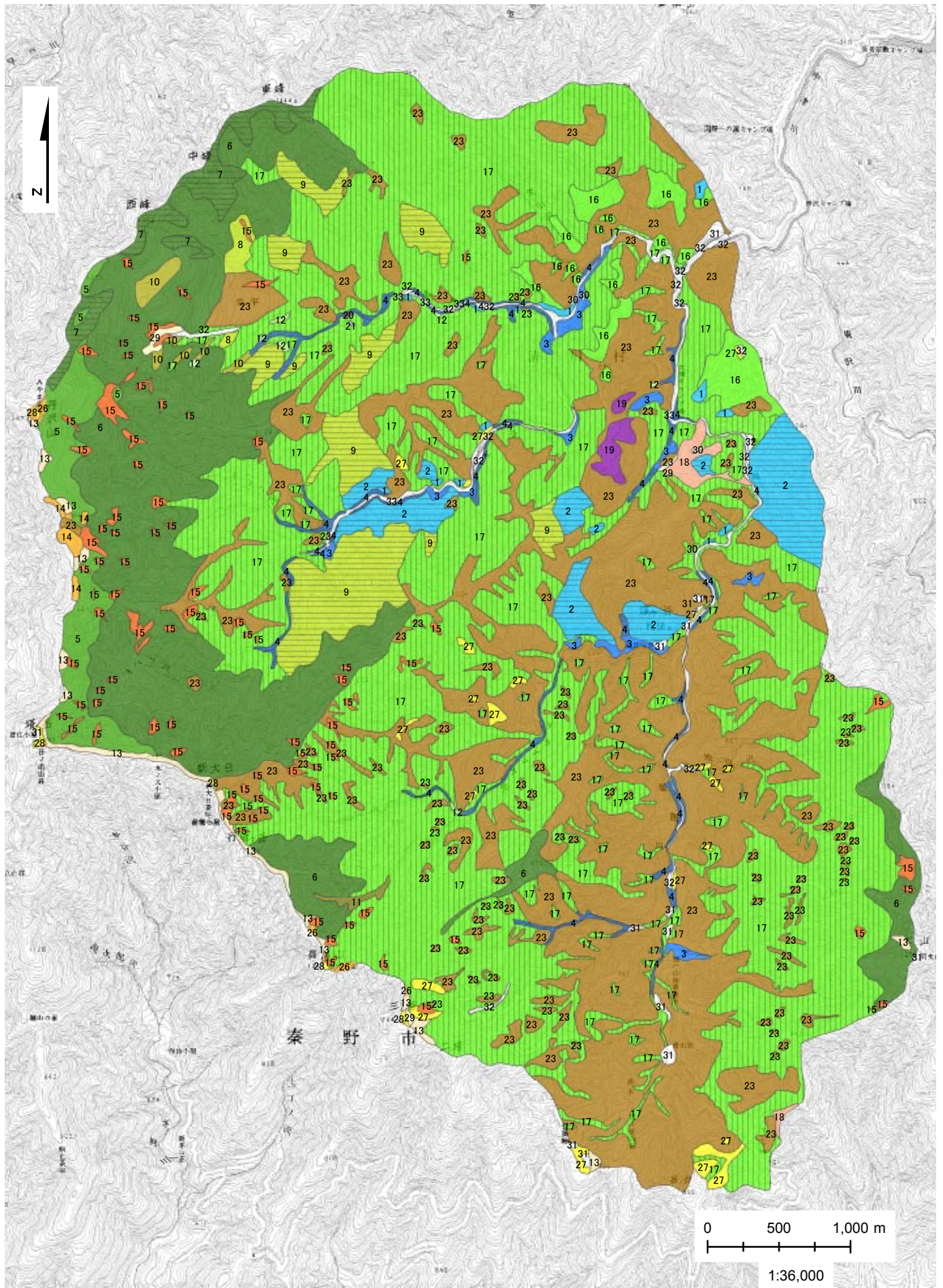
丹沢山地周辺のランドサット
TM 画像（トゥルーカラー）
2000 年 12 月 9 日 撮影
東京情報大学提供

第2章 生きもの再生調査 西丹沢モニタリングエリア現存植生図



本植生図は縮尺 1 / 10,000 の原図を 1 / 36,000 に縮小した。詳細については本書 pp.67-74 (安藤ほか「東・西丹沢の植生比較 - 丹沢東西モニタリングエリアの植生 -」) を参照。

第2章 生きもの再生調査
東丹沢モニタリングエリア現存植生図



本植生図は縮尺 1/10,000 の原図を 1/36,000 に縮小した。詳細については本書 pp.67-74 (安藤ほか「東・西丹沢の植生比較ー丹沢東西モニタリングエリアの植生ー」) を参照。凡例は左頁の西丹沢モニタリングエリア現存植生図に記入。

第2章 生きものの再生調査 植物群落



林床にアシボソが繁茂したヤマボウシーブナ群集（堂平 2005.8.17 村上雄秀）



林床植生の衰退したオオモジガサブナ群集（塔ノ岳～丹沢山 2005.6.28 鈴木伸一）



ブナ林の退行で広がるヤマカモジグサミヤマクマザサ群落（竜ヶ馬場 2005.6.28 鈴木伸一）



シカの食害が進行しつつある西丹沢のイワボタンーシオジ群集（城ヶ尾峠 2005.9.14 村上雄秀）



ほぼ裸地化しているサカキウラジロガシ群集の林内（大山南斜面 2005.10.19 村上雄秀）

第2章 生きものの再生調査 植物群落



西丹沢の健全なヤマボウシープナ群集（城ヶ尾峠 2005.9.14 村上雄秀）



シカ食害下の植生景観。オオバアサガラ（中央）とヒメジソーアオジソ群落（手前）（札掛 2004.9.15 村上雄秀）



急峻な断崖地に残存したカナウツギーモミジイチゴ群集（玄倉林道 2005.9.16 村上雄秀）



スギ植林下に繁茂したササガヤーマツカゼソウ群落（堂平 2005.8.17 村上雄秀）



ハコネハナヒリノキ群落（モロコバ沢ノ頭 2005.9.14 村上雄秀）

第2章 生きものの再生調査
維管束植物



タキシシダ (山北町 2006.3.26 田村 淳)



ホソイノデ (世附大又沢 2004.8.22 田村 淳)



ヤシヤイノデ (西丹沢 2003.10.27 勝山輝男)



タカネサトメシダ (丹沢山 2005.5.24 田村 淳)



ウスゲミヤマシケンダ (丹沢山 2006.8.10 田村 淳)



クルマユリ (丹沢山 2002.7.13 田村 淳)



サガミジョウロウホトギス (水無川 2003.9.9 勝山輝男)



ハルナユキザサ (桧洞丸 2005/6.14 勝山輝男)

第2章 生きものの再生調査
維管束植物



タンザワサカネラン (2005.6.24 稲垣精秋)



カモメラン (丹沢山～蛭ヶ岳 2004.6.15 勝山輝男)



ノビネチドリ (丹沢山 2002.6.7 田村 淳)



ミヤマツチトリモチ (菰釣山 2005.8.16 勝山輝男)



モミジカラマツ (丹沢山～蛭ヶ岳 2000.7.5 勝山輝男)



ムラサキツリガネツツジ (桧洞丸 2006.6.15 勝山輝男)



ムラサキセンブリ (世附 2005.10.20 村上雄秀)



クガイソウ (丹沢山～蛭ヶ岳 2005.7.20 田村 淳)

第2章 生きもの再生調査
コケ植物



ヤスダゴケ (玄倉川 2005.8.5 平岡正三郎)



オオタマモチイトゴケ (丹沢山 2004.11.20 平岡正三郎)



チブイチョウゴケ (箱根 2004.11.2 平岡正三郎)



ミヤマミズゼニゴケ (箱根 2005.7.18 平岡正三郎)



カサゴケモドキ (丹沢山 2004.11.20 平岡正三郎)



カメゴケモドキ (丹沢山 2004.11.21 平岡正三郎)



ハリスギゴケ (川崎市 2003.12.2 平岡正三郎)



アオゴケ 熊木沢出会 (2005.8.5 平岡正三郎)

第2章 生きもの再生調査 コケ植物



キヨスミトゴケ (箱根 2004.9.1 平岡正三郎)



ツルゴケ (菰釣山 2005.10.24 平岡正三郎)



フジノマンネングサ (菰釣山 2005.10.24 平岡正三郎)



イワダレゴケ (箱根 2005.11.18 平岡正三郎)



ヤマトマイゴケ (菰釣山 2005.10.24 平岡正三郎)



エゾヒメヤバネゴケ (玄倉川 2005.8.5 平岡正三郎)



ヨシナガウロコゴケ (玄倉川 2005.8.05 平岡正三郎)



エゾヤバズゴケ (玄倉川 2005.8.5 平岡正三郎)

第2章 生きものの再生調査 地衣類



ツノマタゴケモドキ (イデン沢 2005.9.11 木下靖浩)



テリハヨロイゴケ (三国山 2005.5.29 木下靖浩)



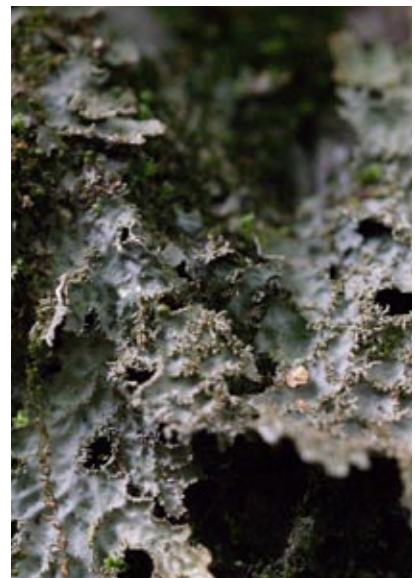
サルオガセ属 (玄倉 2005.12.10 木下靖浩)



ヤグラゴケ (玄倉 2005.12.10 木下靖浩)



モミジツメゴケ (イデン沢 2005.9.11 木下靖浩)



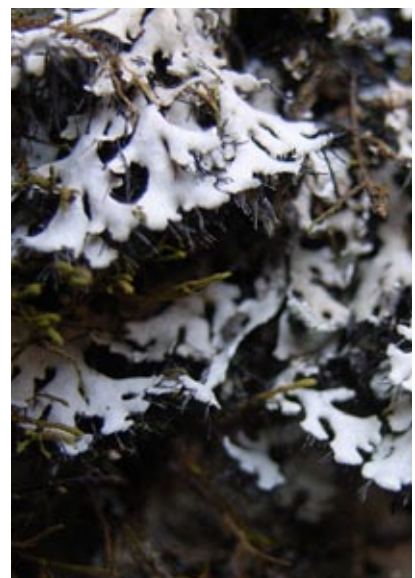
ヂレカブトゴケ (大山 2005.5.28 木下靖浩)



チヂレウラムゴケ (大山 2005.5.28 木下靖浩)



ウチキウメノキゴケ (大山 2005.5.28 木下靖浩)



クロアシゲジゲジゴケ (玄倉 2005.12.10 木下靖浩)

第2章 生きものの再生調査 哺乳類



ツキノワグマ (札幌 山口喜盛)



カモシカ (玄倉 2001.6.5 山口喜盛)



キツネ (札幌 山口喜盛)



ヤマネ (世附 山口喜盛)



カヤネズミ (山市場 山口喜盛)



アライグマ (津久井 2004.10.20 岡林良一)



チチブコウモリ (玄倉 2001.11.25 山口喜盛)



ユビナガコウモリの群 (玄倉 2004.10.31 山口喜盛)

第2章 生きもの再生調査 鳥類



クロジ (大室山 2005.6.13 佐々木祥仁)



オオアカゲラ (秦野峠 山口喜盛)



クマタカ (東丹沢 2005.10.24 佐々木祥仁)



サンショウクイ (表丹沢 2002.4.27 平田寛重)



サンコウチョウ (南足柄市 2006.7.15 平田寛重)



コルリ (畦ヶ丸 2005.5.29 佐々木祥仁)



ガビチョウ (弘法山 2005.4.30 重永明生)

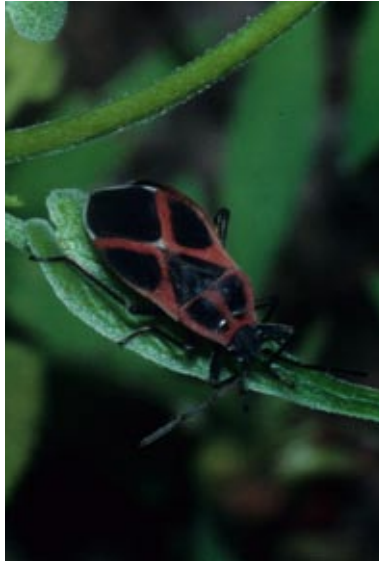


ソウシチョウ (七沢 平田寛重)

第2章 生きものの再生調査 昆虫



谷戸の湿地環境の消失により減少がめだつシオヤトンボ（秦野市名古木 2005.5.9 高桑正敏）



タンザワイケマを寄主植物とし、最近になって主稜部に進出したジュウジナガカメムシ（丹沢山～竜ヶ馬場 2006.8.3 高桑正敏）



丹沢山地では山麓部から主稜部まで多く見かけるようになったエサキモンキツノカメムシ（厚木市七沢 1994.7.9. 高桑正敏）



ブナ帯に優占するコエゾゼミの羽化（丹沢山～竜ヶ馬場 2005.7.8 高桑正敏）



ブナの立ち枯れ木に静止していたミヤマクワガタ（丹沢山三ッ峰尾根 2006.6.25 高桑正敏）



シナノキの樹洞内に潜むオオチャイロハナムグリ（丹沢山堂平 2006.8.5 高桑正敏）



主稜部に進出しちじるしいタンザワイケマの花を訪れたアオアシナガハナムグリ（丹沢山山頂 2005.8.7. 高桑正敏）



肢や触角などが黒くなる丹沢山地高標高地のフタコブルリハナカミキリ（丹沢山山頂付近 2005.7.17. 高桑正敏）



南部フォッサマグナ要素であるフタスジハナカミキリ黒化傾向型（丹沢山～西峰 2005.7.16 高桑正敏）

第2章 生きもの再生調査 昆虫



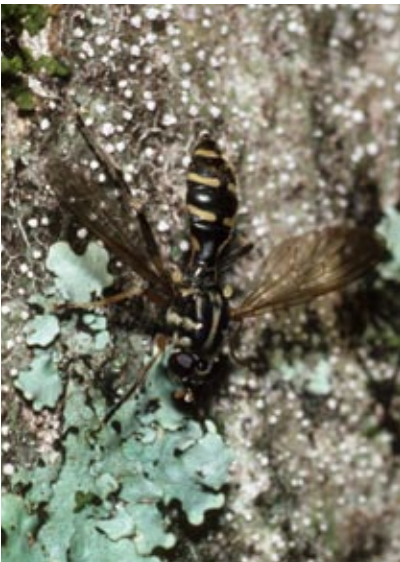
樹皮のはげたハリギリ立ち枯れに産卵する
カエデノヘリグロハナカミキリ（丹沢山
山頂 2005.6.26 高桑正敏）



丹沢主稜部の広葉樹の立ち枯れでよく見
かけるクロホソコバネカミキリの交尾態勢
（丹沢山三ツ峰尾根 2006.8.3. 高桑正敏）



クスギの樹液に飛来したハチ擬態として知られるハ
チモドキハナアブ（秦野市名古木 2002.6.3 高
桑正敏）



朽ちた木によく静止するハチ擬態のムツボシ
ハチモドキハナアブ（山北町富士見林道
1993.7.6. 高桑正敏）



西丹沢を分布の東限とするキシマドリシジミ
（山北町世附大又沢 2006.8.10 菅井忠雄）



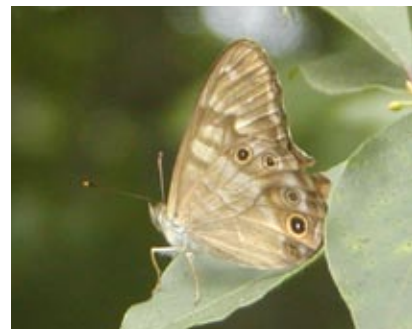
主稜部にも普通に見かけるようになった亜
熱帯性のツマグロヒョウモン（丹沢山山頂
2005.8.7 高桑正敏）



神奈川県では現在西丹沢の山梨県境だけ
に生息するホシミスジ（山北町高指山
2006.7.7 菅井忠雄）



丹沢で大発生したことで一躍有名になったブナハバチ（成虫：丹沢山山頂、2001.6. 1. 谷 晋；
幼虫：丹沢山山頂、1998.5.31. 山上 明）



スズタケの衰退によって激減したヒメキマダラ
ヒカゲ（山北町高指山、2005.8.7. 菅井忠
雄撮影）

第2章 生きものの再生調査
クモ類



ジョロウグモ雌（埼玉県入間市 2003.10.19 谷川明男）



コガネグモ雌（千葉県館山市 2005.6.30 谷川明男）



ツシマトリノフンダマシ雌（秦野市名古木 2005.7.18 谷川明男）



ヒロテゴマグモ雌（東京都八王子市 2005.1.29 谷川明男）



ヤマトウジスカグモ雌（秦野市吾妻山 2005.5.2 谷川明男）



シノビグモ雌（秦野市境沢林道 2005.7.7 初芝伸吾）



コガネウラシマグモ雌（清川村 2005.6.6 谷川明男）



デーニツハエトリ雌（相模原市 2004.9.25 谷川明男）

第2章 生きものの再生調査
溪流生物



相模川水系 1



相模川水系 2



相模川水系 3



相模川水系 4



相模川水系 5



酒匂川水系 1



酒匂川水系 2



酒匂川水系 3



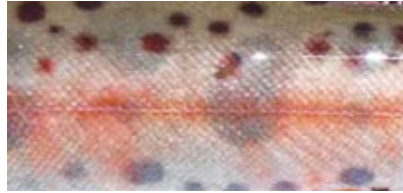
金目川水系丹沢在来

相模川、酒匂川、金目川で採集されたヤマメ

第2章 生きものの再生調査 溪流生物



A タイプ



B タイプ



C タイプ

ヤマメの生息状況調査で採集されたヤマメのタイプ別朱斑の魚体



ガガンボカゲロウ♂成虫 (神ノ川 1997.6.19 石綿進一)



ガガンボカゲロウ♂成虫標本 (神ノ川 1997.6.19 石綿進一)



チェルノバ♀成虫 (東京都八王子市北浅川 1985.5.2 石綿進一)



チェルノバ♂亜成虫 (東京都八王子市北浅川 1985.5.2 石綿進一)



チェルノバ幼虫 (藤野町佐野川 1984.5.4 石綿進一)



外来の貝 コモチカワツボ (湯河原町新崎川 2003.1.23 石綿進一)

第2章 生きもの再生調査
菌類



アカチシオタケ (長尾・新大日 2004.9.22 城川四郎)



コガネヌメリタケ (堂平 2005.5.10.5 城川四郎)



ハイロサクラタケ (世附大又沢イデン沢 2005.6.7 城川四郎)



フチドリベニコヒダタケ (堂平 2004.10.14 城川四郎)



ブナコガサタケ (仮称) (堂平 2005.6.28 城川四郎)



ヌメツバコガサタケ (仮称) 堂平 2004.10.14 城川四郎)



キフミジキタケ (仮称) (堂平 2005.6.28 城川四郎)



ナガイトコナカブリ (仮称) (世附大又沢イデン沢 2005.6.7 城川四郎)

第2章 生きものの再生調査 菌類



ミヤマトンビマイ (堂平 2005.6.28 城川四郎)



ムサシタケ (世附大又沢 2005.10.4 藤澤示弘)



エビタケ (長尾尾根 2004.7.28 城川四郎)



モモイロダクリオキン (長尾・新大日 2004.9.22 城川四郎)



アミノアラゲコベニチャワンタケ (仮称) (堂平 2005.6.28 城川四郎)



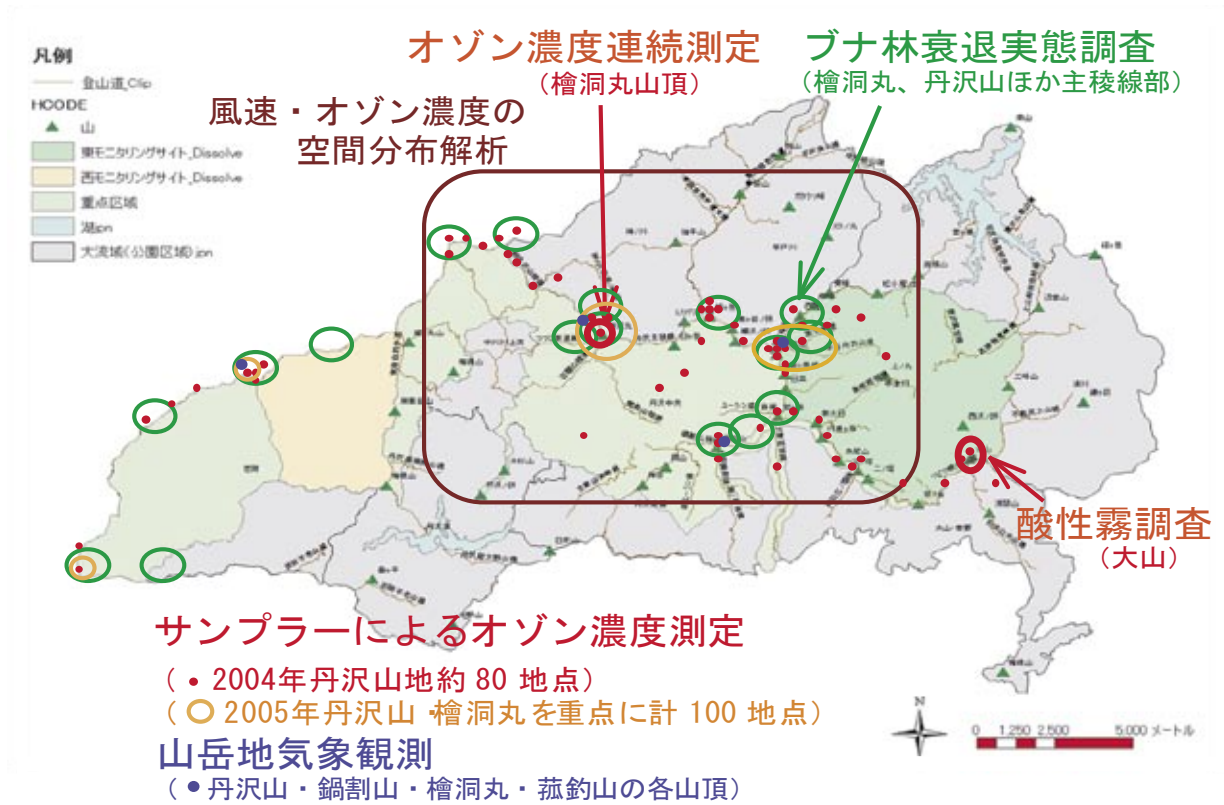
コツボホソエノタンボタケ (仮称) (堂平 2005.6.28 城川四郎)



Synnematomyces capitatus 担子菌系不完全菌類 (世附大又沢イデン 沢 2005.7.5 出川洋介)



カイガラムシツブタケ (中川川西沢 2004.10.31 出川洋介)



水と土再生調査における大気・ブナ衰退分野の調査地点



オゾン濃度連続測定装置 (檜洞丸山頂南面)



気象観測装置 (丹沢山山頂)

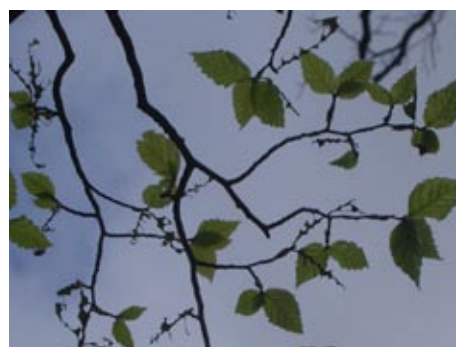
第3章 水と土再生調査 ブナ林の衰退と大気環境



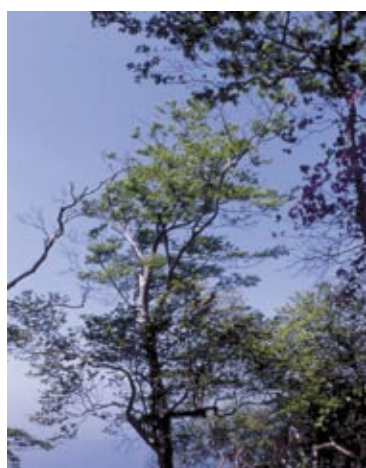
ブナ林衰退実態の現地調査風景（檜洞丸山頂北面）



オゾンによるブナ葉の可視被害（フレッキング）（堂平のブナ葉）



ブナハバチによるブナ葉の食害（檜洞丸南面稜線付近）



1999.6.8



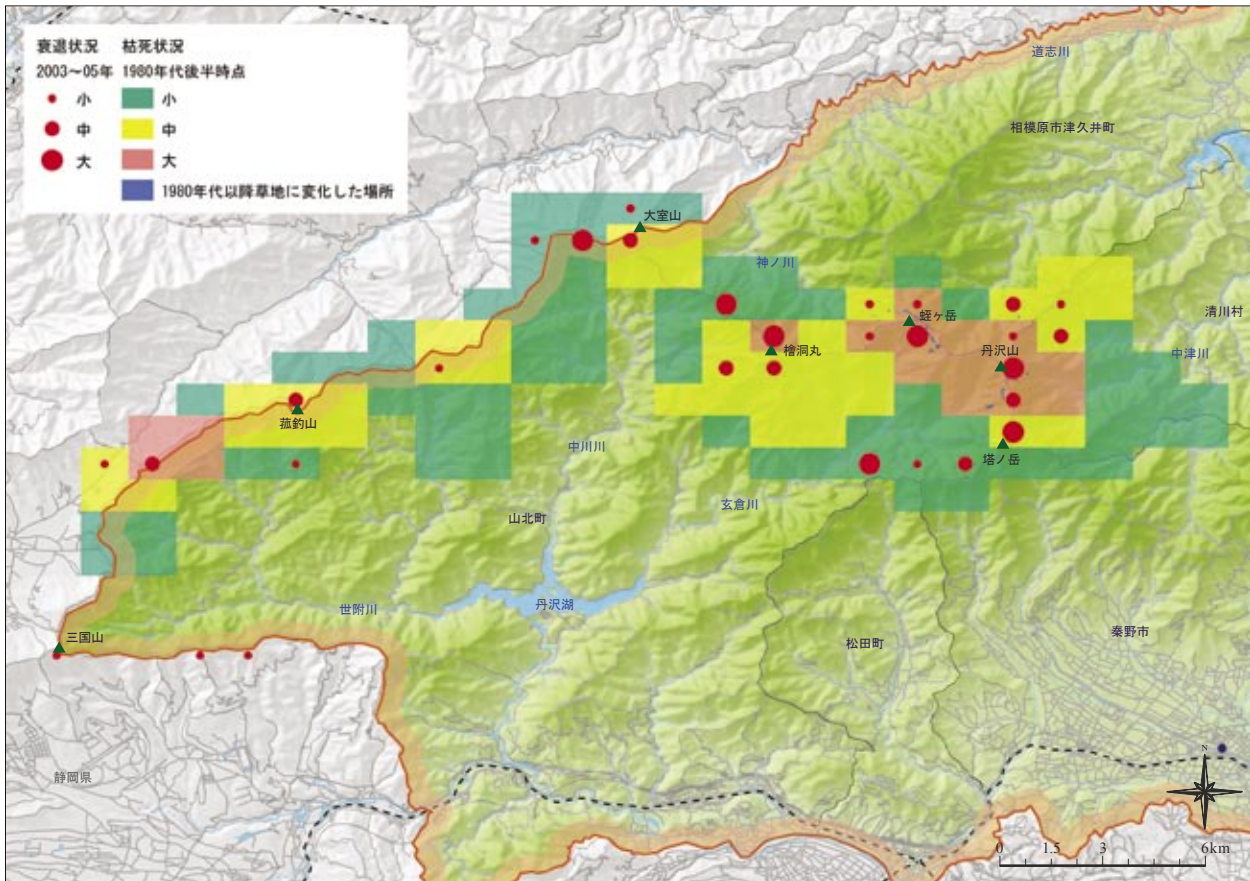
2002.8.30
ブナハバチの激害



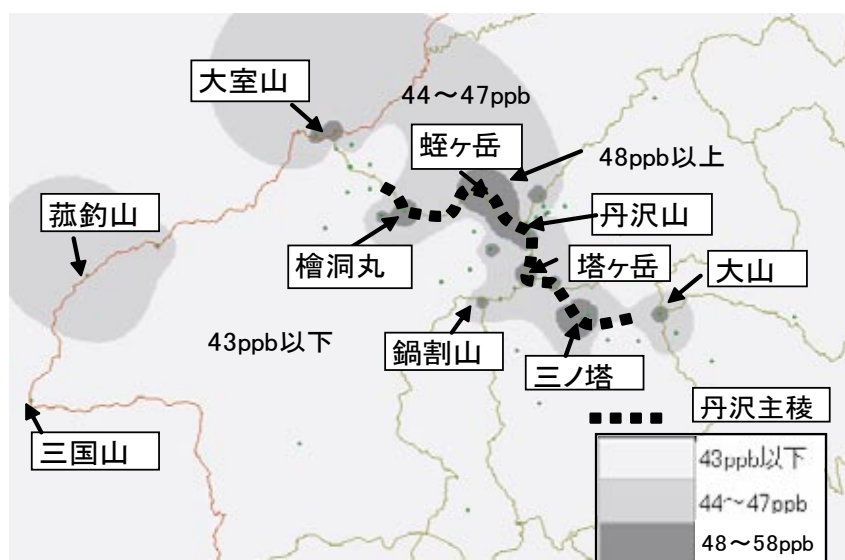
2004.12.3
枯死

ブナハバチ被害木の経過の例（檜洞丸）

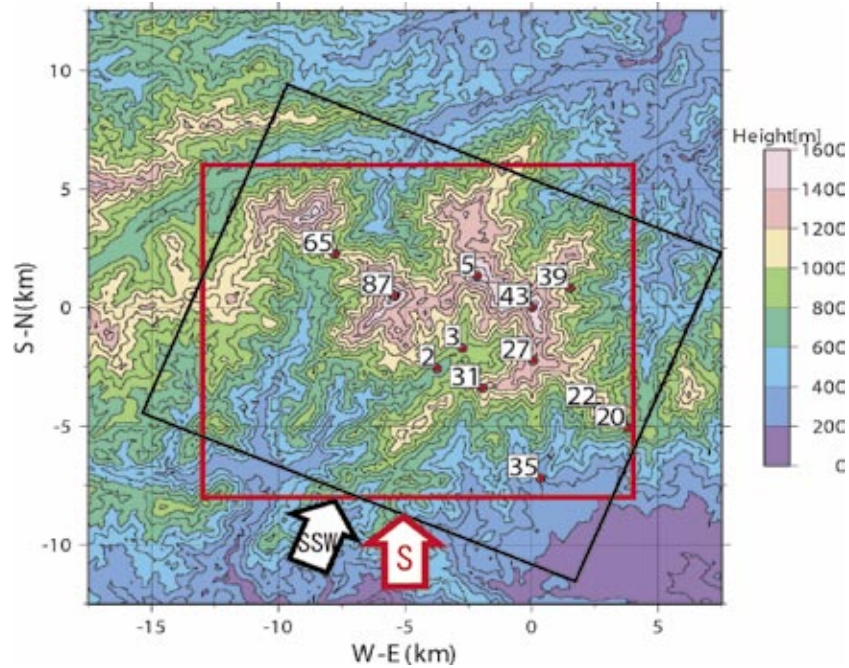
第3章 水と土再生調査 ブナ林の衰退と大気環境



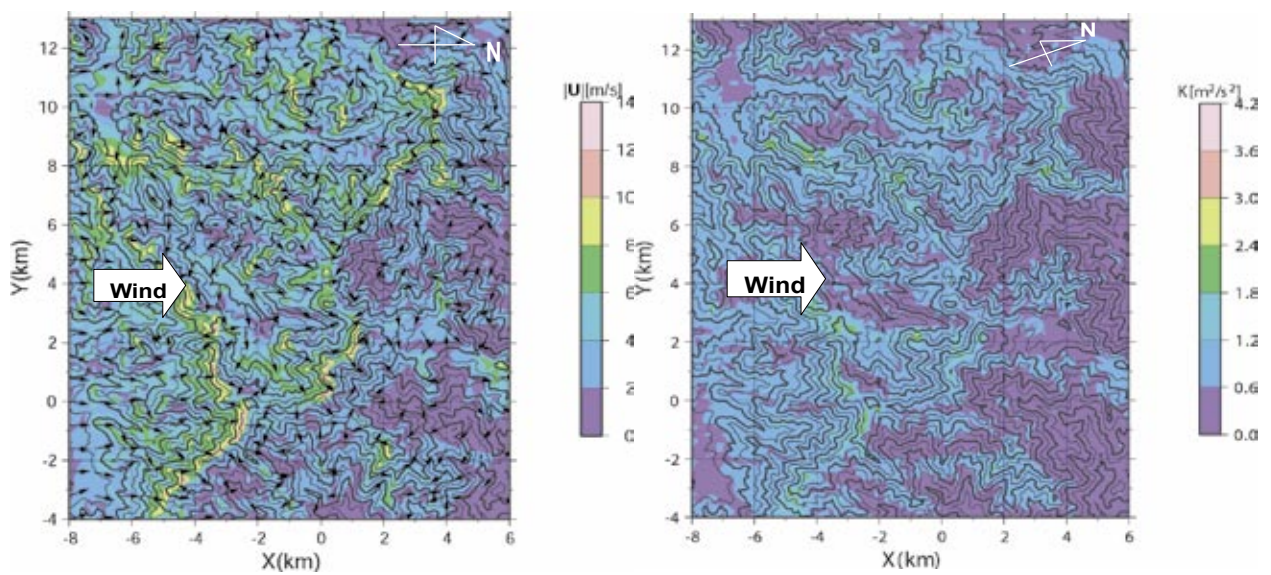
丹沢山地におけるブナ林の衰退実態（第3章第4節Ⅲ参照）



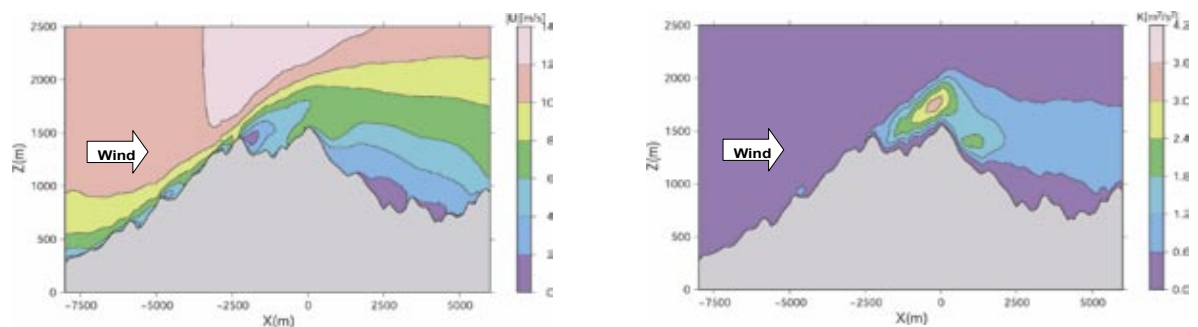
丹沢山地におけるオゾン濃度分布（2004年5月から9月の平均）（第3章第1節Ⅲ参照）



丹沢山地における風況およびオゾン濃度空間分布の解析領域図（第3章第1節Ⅱ参照）

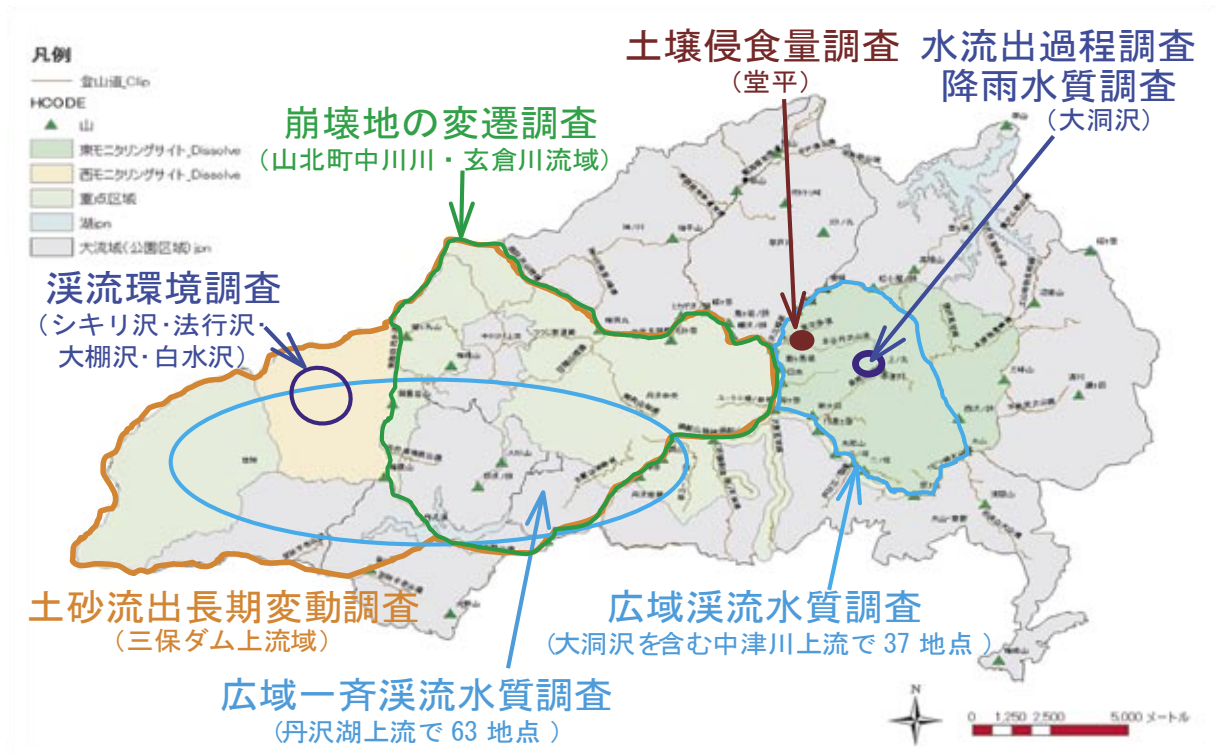


風速絶対値水平分布（左）および乱流エネルギー水平分布図（右）（地上高さ10m, S1）（第3章第1節Ⅱ参照）



風速絶対値鉛直分布（左）および乱流エネルギー鉛直分布図（右）（ $Y=0.0km$, S1）（第3章第1節Ⅱ参照）

第3章 水と土再生調査
 渓流水質と土壌浸食



水と土酸性調査における水・土分野調査地点



広域渓流水質調査における中津川上流の採水地点



水文観測調査施設 (大洞沢)

第3章 水と土再生調査 溪流水質と土壌侵食



面的に広がる林床植生の衰退（堂平）（第3章第3節IV参照）



土壌侵食量調査の試験区画（堂平）。左：被度大（植生保護柵内、植被率80%）中：被度中（植生保護柵内、植被率40%）右：被度小（植生保護柵、植被率約1%）（第3章第3節IV参照）



土壌侵食対策手法の試験施工の例（堂平）。左：リターロール工 右：リター捕捉ネット工（第3章第3節IV参照）

第3章 水と土再生調査 崩壊地と土砂流出



昭和 20 年代の荒廃状況（大山山頂より）（「神奈川の林政史」より）

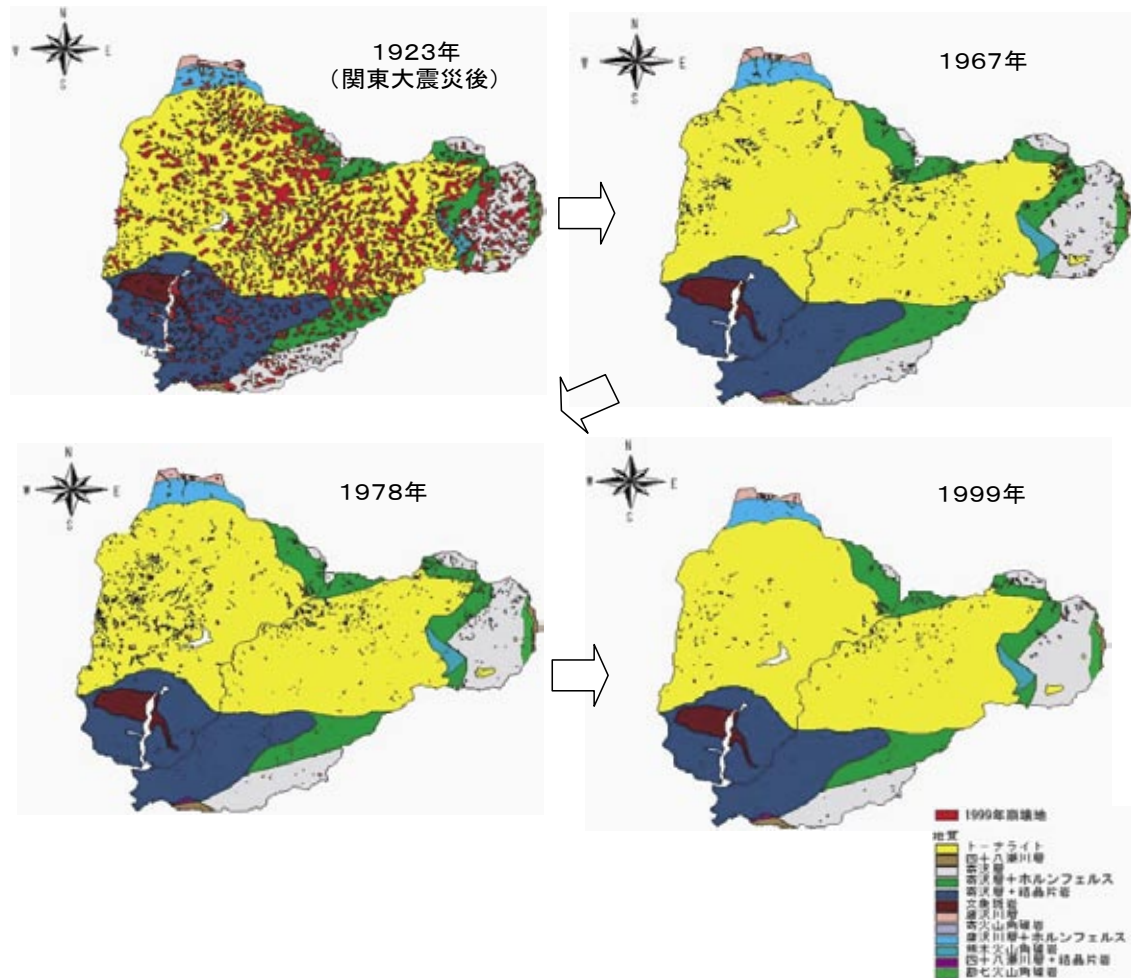


丹沢主脈の崩壊地（蛭ヶ岳南尾根の西面）

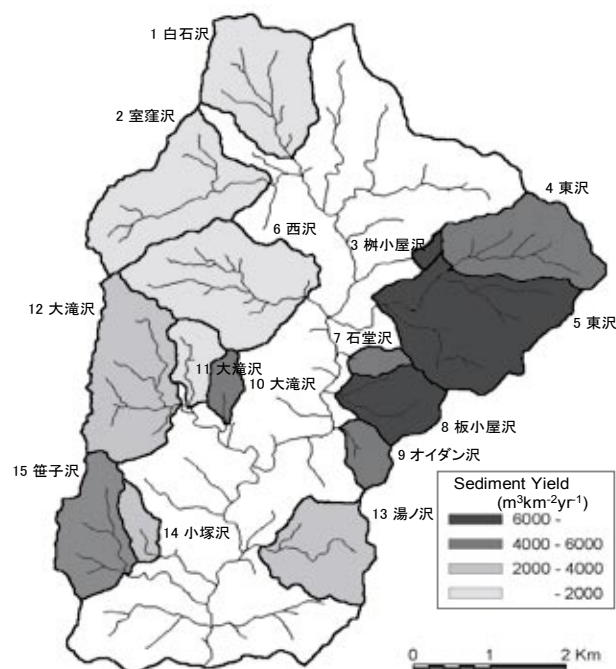


玄倉川流域熊木沢上流の堰堤

第3章 水と土再生調査 崩壊地と土砂流出



地質区分ごとの崩壊分布とその変遷（中川川・玄倉川流域）（第3章第3節Ⅱ参照）



調査対象とした堰堤流域における比生産土砂量とその分布（中川川流域）（第3章第3節Ⅰ参照）



e-Tanzawa (丹沢自然環境情報ステーション)



アトラス丹沢 Web



e-Tanzawa Support



神奈川レッドデータブック



WebGIS



野生きのこ図鑑



写真登録システム

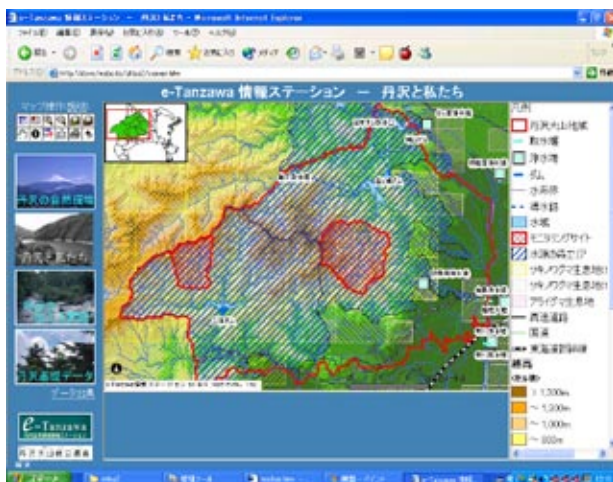
第3章 情報整備調査



たんざわレポート Online



たんざわレポート Online コンテンツ



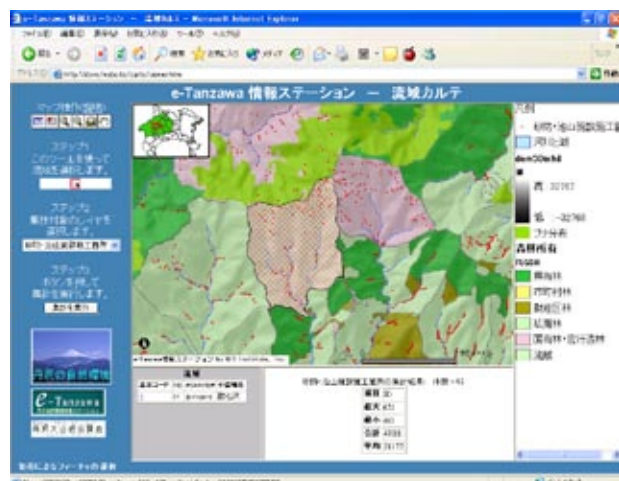
WebGIS の画面表示例 1 (アトラス丹沢第一集：丹沢と私たち)



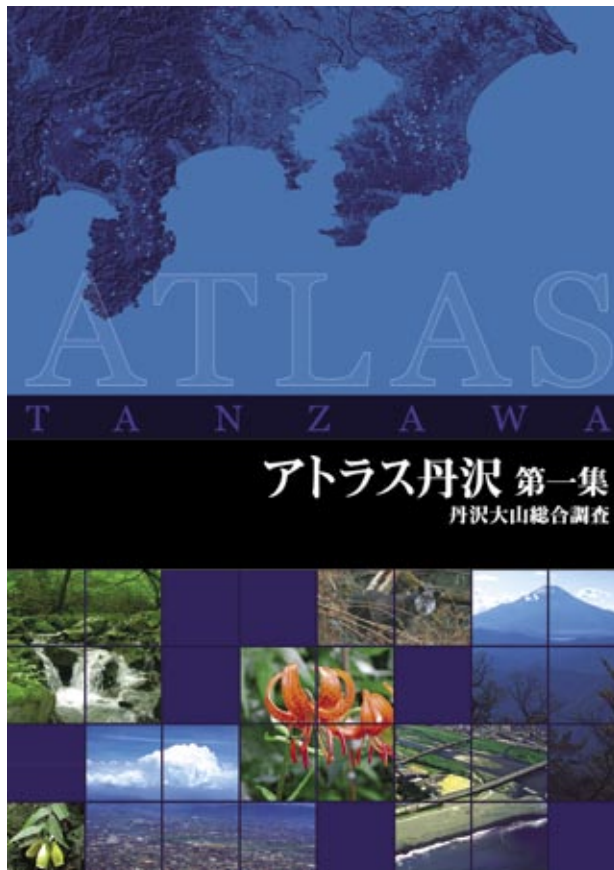
WebGIS の画面表示例 2 (アトラス丹沢第一集：丹沢の抱える問題)



WebGIS での属性検索の実行結果例 1 (流域カルテ)



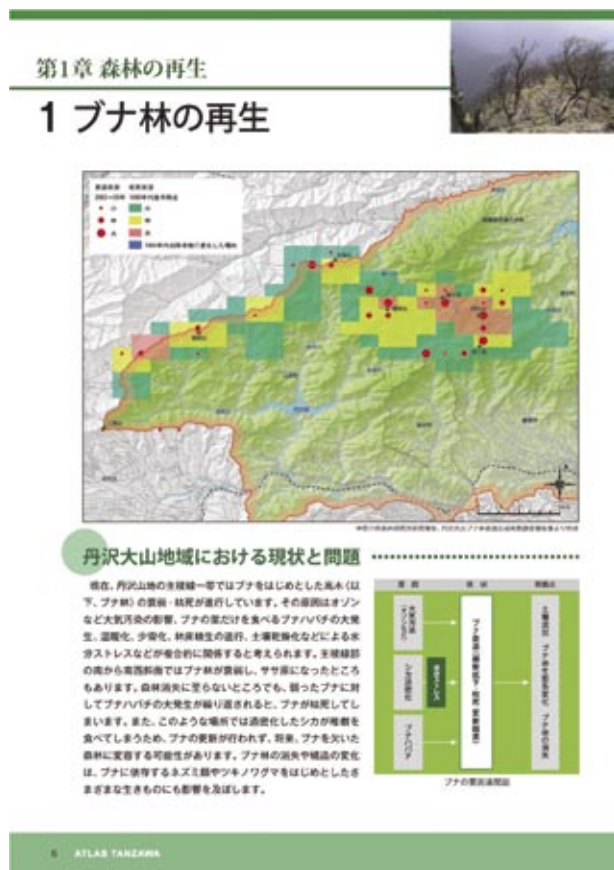
WebGIS での属性検索の実行結果例 2 (流域カルテ)



アトラス丹沢第一集



アトラス丹沢第二集

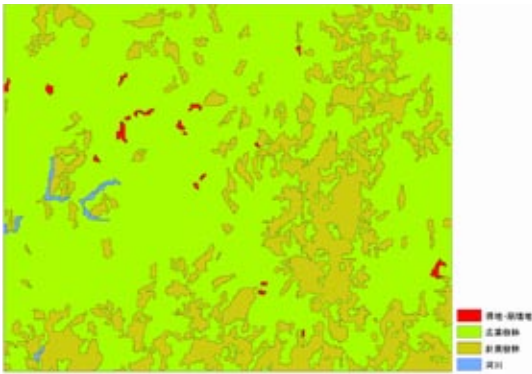


アトラス第二集ページ例

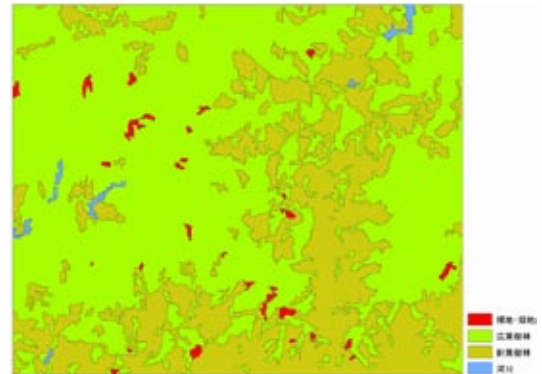


アトラス丹沢 Web コンテンツ例

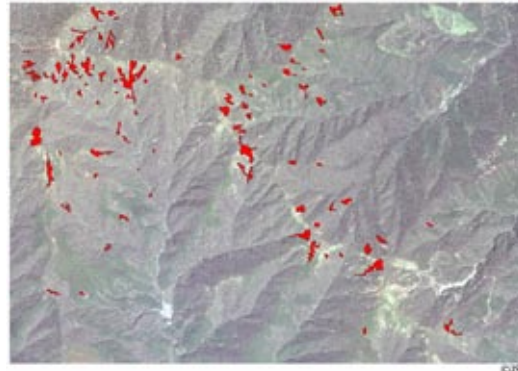
第3章 情報整備調査



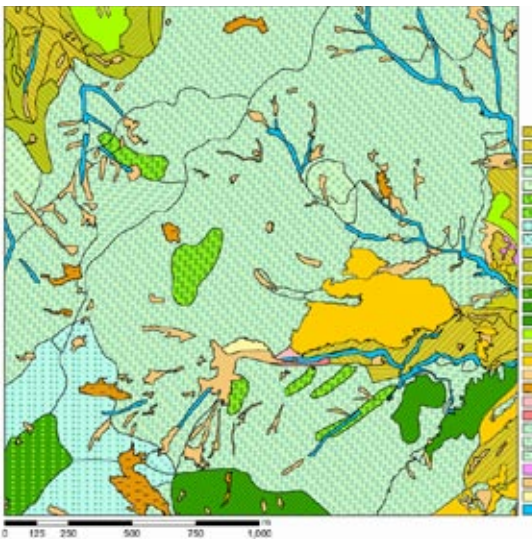
LandsatTM データに対するオブジェクトベース分類結果 (1995年5月18日) 第5章第3節 I



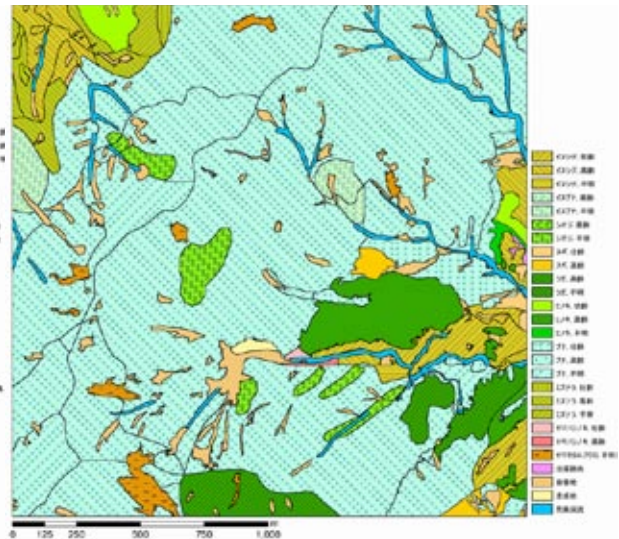
LandsatTM データに対するオブジェクトベース分類結果 (2000年4月13日) 第5章第3節 I



IKONOS データによる変化域の検証 第5章第3節 I



統合植生区分図 群集・群落一生育段階 第5章第3節 II -1



統合植生区分図 優先樹種一生育段階 第5章第3節 II -1



1977年時点の棚沢ノ頭付近 第5章第3節 II -2



2004年時点の棚沢ノ頭付近 第5章第3節 II -2

第4章 地域再生調査
丹沢大山地域の暮らしの曼荼羅

